

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台国際センター及びせんだい青葉山交流広場・駐車場	
2 指定管理者	青葉山コンソーシアム(構成企業:株式会社東北共立、日本コンベンションサービス株式会社、野村不動産パートナーズ株式会社、石井ビル管理株式会社、小田原電機工業株式会社)	
3 指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 245,532人(前年度比 210.8%) 令和3年度 116,487人 令和2年度 51,608人	
	《事業》 ・仙台国際センター及びせんだい青葉山交流広場・駐車場の適切な運営管理 ・本市の交流人口拡大に向けた国際会議や学会等の誘致	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 35,929千円(142,438千円) ・ その他市が負担した費用 0千円(0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 468,159千円(323,234千円) ※上記金額は仙台国際センター施設使用料・附帯設備利用料、せんだい青葉山交流広場・駐車場使用料の合計 ・ その他収入 71,171千円(48,011千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 仙台国際センター独自の利用者アンケートを実施し、その結果を業務改善に役立てた。	

二 管理運営に係る評価(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に沿った適切な運営を行っており、施設目的も十分に達成されている。	21/21
II 施設の運営管理体制	セキュリティ対策、事故防止策、災害時対応等にも適切に対応しており、安全かつ円滑な施設の運営管理体制を構築している。 本市災害対策本部の拠点が災害により使用困難となった場合に、代替施設としての役割を果たすべく体制を整備している。(令和2年2月28日「大規模災害時等における施設利用の協力に関する協定書」締結。)	31/30
III 施設・設備の維持管理	施設、設備の適切な維持管理を行っている。特に仙台国際センターの会議棟は建設から30年近く経つ建物であるため、経年劣化への対応が求められている施設であるが、指定管理者は各設備の状況をよく把握し、適切な管理を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	青葉山コンソーシアムは複数の企業で構成される団体であるが、職員間の情報共有や役割分担も適切に行われており、それぞれの専門性を活かした管理運営が行われている。また、運営全般を網羅した運営ガイドラインを整備し、サービス水準の確保が図られるような体制が構築されている。	28/28
V 施設固有の基準	新型コロナウイルス感染症の影響がある中、十分な感染対策を講じつつ安全安心な催事開催を促進することで、本市の交流人口回復に寄与し、また、可能な範囲での誘致活動を継続している。さらに、周辺施設やコンベンション関係者等を交えた会議体を組織し、サービス向上や地域が一体となった取り組みを推進している点を評価する。	8/6

三 評価総括

《指定管理者（青葉山コンソーシアム（構成企業：株式会社東北共立、日本コンベンションサービス株式会社、野村不動産パートナーズ株式会社、石井ビル管理株式会社、小田原電機工業株式会社））による自己評価》
<p>私ども青葉山コンソーシアムは平成27年4月1日より、仙台国際センター及びせんだい青葉山交流広場・駐車場の指定管理者として、適正な施設管理業務と利用者サービスの向上、地域貢献に努めてまいりました。</p> <p>本年度は、新型コロナウイルス感染症に収束の兆しが見られ、催事利用が回復傾向にあると予想しておりましたが、3月16日に発生した最大震度6強の地震によって大きな被害を受け、一部の諸室は9月まで利用不可となりました。また、世界的なインフレや急激な円安により予想をはるかに超えて水光熱費が上昇し、運営や収益に大きな影響を及ぼしました。上期には、今まで開催を見送られていた展示会が様々な感染症対策を実施し開催となりました。中でも6月に「第23回ダイレクトSHOW 2022 in TOBE」、9月には「第28回宮城県歯科医学大会／第28回東北デンタルショー」が開催され、様々な製品を直接確かめることが出来る機会となりました。下期に入り現地開催で行われる学会も増え10月の「第55回日本薬剤師会学術大会」では8,000名と多くの方が参加されました。また、2回の延期を余儀なくされた国際会議「世界防災フォーラム」は当初開催予定だった令和3年から2年遅れて令和5年3月に実施となりました。</p> <p>令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行等、新型コロナウイルス感染症の影響が大幅に減少することが期待できますが、現在も続く円安・ドル高、世界的なインフレ等の不安要素も多くある中、今後もSDGsを意識し安心・安全な施設運営を行い、利用者の利便性向上やDXを含む業務効率化、省エネルギー性を重視した施設維持管理を実施します。また、各種会議開催のための積極的な誘致活動と広報活動、仙台国際センターのメリットを生かした利用促進として市民の皆様にも広く周知され親しみやすい施設づくりを目指し、仙台市の発展と経済成長に貢献できるよう努めてまいります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>平成27年度から利用料金制（施設利用料を指定管理者の直接の収入とし、その収入から施設所有者である当市に納付金を納入する制度）による指定管理制度を導入し、公募によって選定された青葉山コンソーシアムが「仙台国際センター及びせんだい青葉山交流広場・駐車場」の指定管理者として施設の管理運営を行っている。</p> <p>令和3年度に引き続き本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本市のガイドラインに則り、催事開催自粛に伴う利用者への施設利用料の全額返還を求めたこと等により、利用料収入が減少したため、これに伴う補償として指定管理料を支払うこととした。また、毎年本市に納付している指定管理者納付金（令和元年度・約5,200万円）についても令和3年度に引き続き納付困難となったが、同様の理由により止むを得ないものである。</p> <p>しかしながら、コロナ禍による安全安心な催事開催方法の提案を行うなど、感染拡大防止に努めながら、安定的かつ優秀な施設運営が行われていることは評価に値する。施設の管理面も全体を通して良好で、施設の特性に応じた管理が行われており、施設管理や人材育成等含め、総じてバランスの取れた運営がなされている。</p> <p>なお、利用料金制を採用する仙台国際センターでは、従来は民間企業のノウハウを活かした能動的な施設運営が求められたため評価分野「V 施設固有の基準」について事業収支等の評価基準を設けていたが、令和2年度～本年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、感染症対策に着目した基準としている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：文化観光局観光交流部誘客戦略推進課